

## 令和元年度第2回周南市行政改革審議会会議録

- 日時 : 令和元年9月13日(金) 18時00分～19時50分
- 場所 : 周南市役所 シビック交流センター2階 交流室1
- 出席者 : 行政改革審議会委員9名
- 事務局 : 中村政策推進部長、川口政策推進部次長、中村企画課長、  
高木財政部次長、山本人事課長、浴井行政改革推進室長、吉松主査
- 傍聴者 : なし

### 1. 第3次行財政改革大綱個別行動計画の実施状況について(平成30年度取組状況)

○会長 それでは平成30年度第3次周南市行財政改革大綱個別行動計画の実施状況について事務局から報告をお願いします

(事務局説明)

○会長 ただいまの説明について、質問がある方はお願いします。

○委員 市税の収納率の向上の取組に「とる」・「おとす」とあるが、これは表現が刺激的すぎて、外部にださないほうが良いと思う。

質問が三点ある。一つ目はモーターボートの収益金の中で、8億7千万円が一般会計へ繰出されたとあるが、効果額は2億7千万円、約6億円の差は何か。二つ目は学校の休校等の再編整理で、休校した後の動きとその計画、また、活用による収入収益はどうなっているのか？三つ目は、ふるさと納税で1億800万円という効果が出ているが、他市の状況は？

○事務局 収納率の向上の文章については、表現について再考し、適正な表現に修正する。モーターボート競走事業の8億7千万円については、平成24年から平成30年度までに一般会計へ繰出された額の合計であり、2億7千万円は平成30年度のみ額である。休校中の学校は、基本的には学校の開放事業で地域住民へ開放したり、選挙の投票所あるいは避難所等で臨時的に使っている。休校の場合は、今後、廃校の手続きを踏んでいくが、地元での活用方法等の意見を聞きながらすすめている。一方で、サウンディング調査を実施し、施設の活用について全国的に公募をし、高速道路等の立地条件を活かし、企業誘致などに

取り組んでいこうとしている状況である。

**○委員** まだ具体的なことはないということか？各地ではホテル等、休校の有効利用方法があると聞か。

**○事務局** 全国的に色々なマーケティングがあるので、そこへ募集をするための条件整理をしている状況である。

ふるさと納税の項目では、効果額が1億8百万円となっているが、これはふるさと納税と、それとは別の寄附金の合計である。本市のふるさと納税の30年度の金額は約9千8百万円。県内13市の状況については、現在手元に詳細な資料がないが、防府市が約2千万円なので、かなり上の方だと思う。

**○会長** 表には個別行動計画の内訳は細かく載っているが、緊急財政対策の内訳がない。緊急財政対策の効果額が19億円とあるが、この明細は？

**○事務局** 今回の報告は個別行動計画の効果額であり、緊急財政対策の数字は参考という形で計上しているため、明細はつけていない。緊急財政対策は、毎年の当初予算編成で実施した取組効果で、個別行動計画は決算ベースでの効果。時点が異なるため、非常にわかりにくいとは思いますが、緊急財政対策のほうは予算編成をした時点で取組効果の内容を公表している。

**○委員** ということは、予算編成の段階でこれだけの効果額があったということか？

**○事務局** その通り。

**○会長** 結局、平成30年度の効果額は個別行動計画は18億9千万円、緊急財政対策は19億円で、トータルで38億円になるのであれば、19億円の内容は何なのかと疑問に感じる。

**○事務局** 予算を組む段階で、事業をとりやめたなどの効果を積み上げたものが、19億円あるということ。一方で、平成30年度の1年間で取り組んだ実績の最終決算額の効果は個別行動計画の効果額ということになる。

○**会長** ということは19億円というのは年度当初で削減した実績ということか？

○**事務局** 予算編成時にそれだけ削減していると理解してほしい。

○**会長** ということは、昨年対比で19億円減ったわけではなく、自分たちが練った目標に対して19億円減らしたということか。

○**事務局** 予算編成ベースで、事業の見直し等に取り組むのが、緊急財政対策の考え方、趣旨である。この予算編成を行った際に、これだけの削減を行ったということを緊急財政対策の効果として公表をしている状況である。一方、個別行動計画は実際に取り組んだ効果として数字が出たものである。

○**委員** 個別行動計画で効果があった18億円は理解できるが、最初から予算をカットしたものを効果として合算するのは民間レベルでは理解できない。

○**事務局** おっしゃる事は理解している。今までこういう形で公表してきているので、それを踏襲してきているところがあるが、次の第4次大綱では、そこは明確にわかりやすくする必要があると考え、組み立てをもう一回見直す方向で検討している。

○**委員** 努力結果として総計であれば分かるが、国もそういう形なのか？予算をカットしたものを効果としてあげるものなのか？

○**事務局** 国が効果をどう表現しているかは、分析しきれていない。

○**委員** 周南独自のやり方か？他市も同じようにこうやっているのか？

○**事務局** これは、周南市独自である。

○**会長** 19億円をここに足しこんだその元の数字というのは何か？要求額の合計か？

○**事務局** 単に要求ベースでの削減というものではなく、例えばAという事業で100人が対象となっているものを、所得制限などを設定し、対象が約半分になった場合も一つの効

果としている。事業の廃止や見直しが緊急財政の中での効果と理解してもらう形が一番シンプル。

ただ、この効果の出し方については、非常にわかりにくいので、次期大綱の中で見直していかなければならないと考えている。

○会長 この形では、効果の時系列的なものが分からない。どう努力したのか、その年に何かがあって減らしたのか、この効果がなにを、どううまくやって、去年より積み重ねて努力したものなのか、そうではなく単独で見してほしいものなのか。どういう経緯のもとに19億も削減されたのか、もう少しわかりやすく説明してもらいたい。

○委員 この表は一般市民に公表するのであれば、今の表の効果額の横に1行増やして、項目別に緊急財政によってカットした部分を加えればわかりやすいのではないか。

○事務局 緊急財政対策の取組効果は当初予算で公表している。行を増やすのは、緊急財政対策と個別行動計画で項目が一致しているものと一致していないものがあるので難しい。

○委員 今言われるように、項目が一致しないのであれば対比ができない。

○事務局 計画の途中から緊急財政対策を組んだ。財政状況の厳しさが増したことから、これまで以上の取組が必要と判断し計画を作ったのだが、今後、第4次大綱ではこれを吸収した形で策定し、取組を継続することとしている。

当初予算を編成するときその効果というものを議会等へ公表している。その公表している表を付け加え、取組の内容を見てもらえるような工夫はできると思う。第4次大綱では組立を再考し、一番わかりやすいシンプルな形になるようにしていきたい。

○会長 資料があるのであれば提示していただきたい。

## 2. 第4次行財政改革大綱（素案）の審議について

○会長 続いて次期周南市行財政改革大綱の素案について、前回の諮問を踏まえた上で事務局より説明をお願いしたい。

(事務局説明)

○会長 第4次大綱の素案に目を通して審議員から質問、意見があればお願いしたい。

○委員 第4次大綱の体系の取組について、行財政の改革のコストパフォーマンスを考えて、これが短期的に有効なものと、バックグラウンドとして当然必要で、継続的に実施することで効率化するものといったように色分けをしたほうが良いように思う。

○事務局 この第4次行財政改革大綱は、これまでは行政改革と財政改革の両輪のような形で構成してきたが、現在、厳しい財政状況のため、4次では財政基盤の再構築にある程度特化したようなものにしていこうと考えている。行政改革であるので、市民サービスの向上等に結びつくものは、当然この中で取り上げていく。ただ、その中で今の本市の状況の中では、職員に再認識させる必要があるため、コンプライアンス等の基礎的な取組もある。それから、Society 5.0 に関しては、情報化社会が進んでいくため、これをいかに市民のための行政サービスに反映させていくか、こういう部分を取り上げていく。そうした特色をもった行財政改革大綱にしていくためにこのようなフレーム、骨組みになっている。この第4次大綱は、これまでの3次までの大綱とは変わった視点で、新しい切り口でやっていくための体系になっている。

○会長 他、質問、意見があればお願いします。

○委員 第3次大綱からフレームというか枠組みが変わった点は、市民との共創共生の推進というところが外れている。まちづくり団体の一人という立場からすると、まちと市民と共にとりという部分がどうなるのかと気になった。

○事務局 ここは議論になったところで、これまで市民参画を行財政改革大綱の中で項目としてあげてきたが、今回は新しいまちづくり総合計画の中で推進していく。総合計画の中で項目を立て、行財政改革大綱とまちづくり総合計画のそれぞれで取り組むことを線引きした形としている。

○委員 大綱から外れて総合計画に移ったということか？

○事務局 移ったというか、強化していくという形。上位計画である総合計画で特出しして取り組むということである。

○委員 了解した。

○会長 今の我々にとって、第4次大綱の素案については、提示されている資料だけでは、新しい取り組みに関して内容がわからないので審議できない。簡潔で良いので説明をしてほしい。

○事務局 ICT利活用は、現在、行財政改革プランを策定中で、今後、具体的な項目等を提示する。AI、RPA等で定型業務を自動化することで、職員の負担軽減、時間外の削減、自動化によって余剰になったマンパワーで新たな施策の策定等の一つ上の職務・仕事取組むという形での活用が見込めると思う。現在、宇部市、山口市、岩国市、本市の4市で、国からの補助金により、4市の間で業務の統一化が図れないか実証実験を行っている。これによって業務の棚卸や見直しも可能になり、行政改革も進んでいくという複合的な効果があると考えている。そういったものに第4次大綱では積極的に取り組んでいきたいと考えている。

給与制度等の適正化の推進は新たに追加した項目である。次期計画期間中に、国の方で定年延長の動きがある。定年延長した場合の給与を適正な給与水準にするために、制度の見直しや運用に取り組んでいく。

公共施設マネジメントに関わる財源確保については、現在、市にある多数の公共施設の老朽化が大きな課題になっている。施設の数量抑制を実施しているが、一方で、建物の長寿命化を図っていく必要がある。これを計画的に実施するために、修繕・更新に係る経費について基金を積み上げていく必要がある。財政平準化を図ることもできるため、基金創設について検討していく。

補助金の見直しが新しい取組の一つとなっているが、前からも取り組んでいた内容で、緊急財政対策に新たに項目立てしたため、新規の項目という形になっている。これまでやってきたことをさらに強化するという意味で、ひとつ項目を格上げしたような形である。

○委員 大綱ではもう少し踏み込んで書いたほうが良いと思う。例えば、基金だったら創設を「検討します」ではなく、財政的にどのような結果がでるかという点まで踏み込んで書いたほうが良い気がする。

大綱を審議する機会はあるのか？

**○事務局** 審議会はあと3回の予定。その中で、この素案に対して、こういうことを入れた方がいい、ここはもう少し踏み込んだ言い方がいい、というようなご意見やお知恵を皆様から頂きたい。今日の資料にある大綱の各項目から、市の取組についてご理解いただき、各委員の経験や思い等を言ってもらい、それらを素案に反映させていく。その後、個別の取組に関する計画を策定し、委員へお示しする予定であるので、まずは素案の審議をお願いしたい。

**○委員** 第1次大綱以降、職員の数が1720人から1340人まで減ったのはすごい努力であるが、結局、この第4次大綱をこれから作るにあたって、二つ問題点がある。一つは財政調整基金というのが46億円しかないのもので、その対策が必要である。あと、周南市の抱えている問題は、人口減少、歳入の減少、施設の老朽化の三点であるが、外科的手術でばっさり切り落とす、というように根本的に変えていかないと改革にならないと思う。会社経営の感覚でいうと、大綱では行政資源は、ひと・もの・かね・情報となっているが、環境変化がめけていると思う。民間企業ではひと・もの・かね・環境変化をテーマにすることが多い。社会・政治・経済・人口動態等の環境はどんどんかわっていくので、それらへの対応、対策を入れていかないといけない。例えば、突然災害がおきた、突如人口が大幅に減ったとか、大手企業の税収が急激に減少したとか、というような事態が起きたときの対応を項目の中に設けないと慌てふためくことになるのではないかと。また、2040年問題についても、周南市の現状から考えると対策の必要がある。

**○事務局** 今のご意見はまちづくり全体にかかわってくるため、まちづくり総合計画で取り組んでいく。また、公共施設の老朽化については公共施設再配置計画で取り組んでいく。また、人口減少問題については、まち・ひと・しごと創生総合戦略で取り組んでいる。それぞれのまちづくりの大きな課題はこの行政改革大綱だけでなく、他に計画を作っており、そちらで取り組むということでご理解頂きたい。

**○会長** 他にご意見は？

**○委員** 熊毛インターの駐車場に看板が多く設置されているのは取組の効果ということか？また、補助を受けて母親クラブで活動しているが、補助金見直しという取組があるの

で、頑張らないといけないと感じた。それから、熊毛総合支所の人数が減って待ち時間が長い等の問題があるので、人数を減らすことも大切だが周南市の人口問題も考えると、市の職員として地元就職することも必要と思われる。難しいことはよくわからないが、市民の意見として申し上げる。

○事務局 熊毛のインターの方は指定管理で運営しているので、看板の設置状況等は把握していない。まちづくりに関する様々なご意見は、直接行財政改革大綱の中に反映させたり、他の様々な会合の場で紹介していきたいと思う。

○会長 他に質疑もないようなので、以上で、本日の議事を終了したい。

(閉会)